

極東開発工業

適用範囲		モデル名		PY125-36A	PY125-36A (KOMT 付)	PY135-28-H	PY135-26-H	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイング	スイング	スイング	
			最大吐出量	m ³ /h	124(90)	124(90)	135(100)	135(100)
			最大吐出圧力	MPa	4.9(7.0)	4.9(7.0)	8.5(13.3)	8.5(13.3)
			アーム最大地上高	m	35.6	35.6	27.9	25.8
		適用号機		11P12-3010～	11P12-3010～	14P02-0010～	13P04-0007 13P06-0024 13P11-0014	
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	24±2	24±2	26±2	26±2
			ローター回転数	回/min	—	—	—	—
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1489 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1489 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1654 ⁺⁰ ₋₄₀)	(1990 ⁺⁰ ₋₅₀)
			(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
	真空ポンプ	回転速度	min ⁻¹	31±3	31±3	33±3	36±3	
		チェーンのたわみ	mm	—	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1489 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1489 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1654 ⁺⁰ ₋₄₀)	(1990 ⁺⁰ ₋₅₀)	
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	
	業装	シリンドー 自然降下量	圧力設定値 (設定値到達時間)	MPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
			圧力降下許容値 (保持時間)	MPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
			Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—
ブーム (1) シリンドー			mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	
ブーム (2) シリンドー			mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	
ブーム (3) シリンドー		mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下		
		ブーム (4) シリンドー	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	
		ブーム (5) シリンドー	mm	—	—	—	—	
		(測定時間)	(min)	(10)	(10)	(10)	(10)	
		(作動計測条件)	(—)	(—)	(—)	(—)		
装		☆ ブームシリンドー 作動時間	作業装置姿勢	[図面No.]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]
			ブーム (1) 伸び	sec	60±10	75±10	65±10	60±10
			縮み	sec	120±10	105±10	70±10	70±10
	ブーム (2) 伸び		sec	140±10	70±10	90±10	70±10	
	縮み		sec	140±10	70±10	75±10	70±10	
	置	ブーム (3) 伸び	sec	135±10	60±10	60±10	45±10	
		縮み	sec	135±10	75±10	90±10	90±10	
		ブーム (4) 伸び	sec	50±10	55±10	35±10	30±10	
		縮み	sec	90±10	60±10	55±10	40±10	
		ブーム (5) 伸び	sec	—	—	—	—	
縮み	sec	—	—	—	—			
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	23.5±1	23.5±1	23.5±1	23.5±1	
		油圧	MPa	6.6	6.6	10.5	10.5	
		水圧	MPa	—	—	—	—	
	空圧機	飛距離	m	—	—	—	—	
		吐出圧力	MPa	—	—	—	—	
(油圧ポンプ回転数)		(min ⁻¹)	(1200 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1200 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1380 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1150 ⁺⁰ ₋₅₀)		
(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(992 ⁺⁰ ₋₅₀)	(992 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1141 ⁺⁰ ₋₄₀)	(1141 ⁺⁰ ₋₅₀)			
(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)			

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

PY75B-17	PY120-30	PT110-10	PY90-17			
スイング	スイング	スイング	スイング			
78(55)	121(87)	112(83)	90(65)			
3.2(4.9)	4.9(7.0)	10.1(16.0)	5.9(8.5)			
16.6	29.8	<アーム無し>	16.6			
13P10-0004～	12P06-0007～	14P0*-****～	15P06-0016～			
検査基準値						
36±2	27±2	26±2	39±2			
—	—	—	—			
(1700 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1900 ⁺⁰ ₋₅₀)			
(1739 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1654 ⁺⁰ ₋₄₀)	(1875 ⁺⁰ ₋₅₀)			
(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)			
31±3	31±3	33±3	34±3			
20・チェーン中央	—	—	20・チェーン中央			
(1700 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1900 ⁺⁰ ₋₅₀)			
(1739 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1654 ⁺⁰ ₋₄₀)	(1875 ⁺⁰ ₋₅₀)			
(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)			
—	—	—	—			
(—)	(—)	(—)	(—)			
—	—	—	—			
(—)	(—)	(—)	(—)			
—	—	—	—			
0.5 以下	0.5 以下	—	0.5 以下			
0.5 以下	0.5 以下	—	0.5 以下			
0.5 以下	0.5 以下	—	0.5 以下			
—	0.5 以下	—	—			
—	—	—	—			
(10)	(10)	(—)	(10)			
(—)	(—)	(—)	(—)			
[図 No. 1]	[図 No. 1]	[—]	[図 No. 1]			
70±10	60±15	—	70±10			
70±10	95±10	—	70±10			
55±10	65±10	—	55±10			
70±10	75±10	—	65±10			
65±10	80±10	—	55±10			
90±10	95±10	—	85±10			
—	35±10	—	—			
—	70±10	—	—			
—	—	—	—			
—	—	—	—			
(1700 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(—)	(1900 ⁺⁰ ₋₅₀)			
(50±10)	(50±10)	(—)	(50±10)			
[図 No. 3]	[図 No. 3]	[—]	[図 No. 3]			
27.5±1	23.5±1	23.5±1	23.5±1			
4.9	6.6	10.5	6.6			
—	—	—	—			
—	—	—	—			
(1700 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1380 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1900 ⁺⁰ ₋₅₀)			
(1739 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1141 ⁺⁰ ₋₄₀)	(1875 ⁺⁰ ₋₅₀)			
(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)			

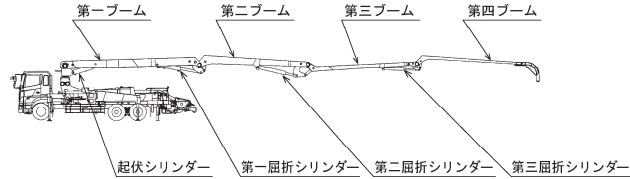
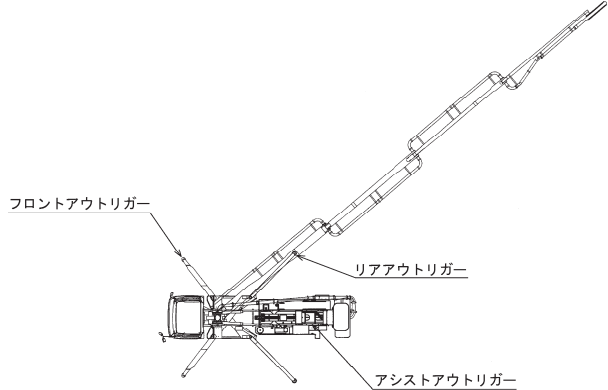
極東開発工業

適用範囲		モデル名		PY125-36A	PY125-36A (KOMT 付)	PY135-28-H	PY135-26-H	
		主仕様	吸 吐 弁 型 式	—	スイング	スイング	スイング	スイング
			最大吐出量	m ³ /h	124(90)	124(90)	135(100)	135(100)
			最大吐出圧力	MPa	4.9(7.0)	4.9(7.0)	8.5(13.3)	8.5(13.3)
			ブーム最大地上高	m	35.6	35.6	27.9	25.8
		適用号機		11P12-3010～	11P12-3010～	14P02-0010～	13P04-0007 13P06-0024 13P11-0014	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	29.4±1	29.4±1	34.3±1	34.3±1	
		弁シリンダー油圧	MPa	29.4±1	29.4±1	18.6±1	18.6±1	
		攪拌モーター油圧	MPa	13.7±1	13.7±1	13.7±1	13.7±1	
		ブーム油圧	MPa	34.3±1	34.3±1	34.3±1	27.5±1	
		ACC ガス封入圧力	MPa	—	—	7.8±1	7.8±1	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1489 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1489 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1654 ⁺⁰ ₋₄₀)	(1990 ⁺⁰ ₋₅₀)	
	(作 動 油 温 度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)		
車体・安全装置	☆旋回ベアリング 取付けボルトの 締付け	外輪取付けボルトの 締付けトルク	N・m	—	—	—	294±9.8	
		内輪取付けボルトの 締付けトルク	N・m	—	—	—	294±9.8	
		旋回ボルトの交換基準	年	—	—	—	特記 5)	
	☆旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	135±10	70±10	155±15	165±15	
		(旋回作動角度)	(度)	(370・限定旋回)	(370・限定旋回)	(370・限定旋回)	(360・全旋回)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1489 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1489 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1654 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1990 ⁺⁰ ₋₅₀)	
		(作 動 油 温 度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	
	アウトリガー 自然伸縮量	各垂直シリンダー	mm	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	
		(測 定 時 間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	
特記事項				1) 油圧ポンプは斜板を最大吐出量の状態にすること。 2) 標準圧送システムの場合について示す。 3) 自動給油は給油されていることを確認すること。 4) シリンダー耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。 5) 締付けトルクを下回る緩みが1本でもあればそのベアリング輪 (外輪 又は 内輪)のボルト全数交換。 6) ブーム制振装置 ACC ガス封入圧力13.8MPa				
				注 5)は適用外		注 6) ブーム制振装置 ACC ガス封入圧力 14.0MPa		

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

コンクリートポンプ車

PY75B-17	PY120-30	PT110-10	PY90-17				
スイング	スイング	スイング	スイング				
78(55)	121(87)	112(83)	90(65)				
3.2(4.9)	4.9(7.0)	10.1(16.0)	5.9(8.5)				
16.6	29.8	<ブーム無し>	16.6				
13P10-0004～	12P06-0007～	14P0*-****～	15P06-0016～				
検査基準値							
27.5±1	29.4±1	34.3±1	29.4±1				
27.5±1	29.4±1	18.6±1	29.4±1				
10.8±1	13.7±1	13.7±1	13.7±1				
27.5±1	29.4±1	—	27.5±1				
—	—	7.8±1	—				
(1700 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(2000 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1900 ⁺⁰ ₋₅₀)				
(1739 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1654 ⁺⁰ ₋₄₀)	(1875 ⁺⁰ ₋₅₀)				
(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)				
325.6±9.8	—	—	325.6±9.8				
325.6±9.8	—	—	325.6±9.8				
特記 5)	—	—	特記 5)				
70±10	135±15	—	65±10				
(360・全旋回)	(370・限定旋回)	(—)	(360・全旋回)				
(1700 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1800 ⁺⁰ ₋₅₀)	(—)	(1900 ⁺⁰ ₋₅₀)				
(1739 ⁺⁰ ₋₅₀)	(1791 ⁺⁰ ₋₅₀)	(—)	(1875 ⁺⁰ ₋₅₀)				
(50±10)	(50±10)	(—)	(50±10)				
0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下	0.5 以下				
(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [—]	(10) [図 No. 2]				
1) 油圧ポンプは斜板を最大吐出量の状態にすること。 2) 標準圧送システムの場合について示す。 3) 自動給油は給油されていることを確認すること。 4) シリンダー耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。 5) 締付けトルクを下回る緩みが1本でもあればそのベアリング輪 (外輪 又は 内輪)のボルト全数交換。 6) ブーム制振装置 ACC ガス封入圧力14.0MPa							
注 6)は適用外	注 5)は適用外	注 4), 5), 6)は適用外	注 6)は適用外				

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブーム シリンダー 自然降下	アウトリガーを最大に張り出し、ブームをまっすぐに伸ばした状態で保持する。各ブームシリンダーにダイヤルゲージを取り付け、10分間の自然降下量を計測する。 ブーム先端は先端ホースのみとし、過重は加えない。	図-1 ブームシリンダー自然降下計測姿勢 (下図参照)
		
アウトリガー シリンダー 自然降下	ブームを水平に伸ばし、測定対象のアウトリガーの真上に置く。アウトリガーにダイヤルゲージを取り付け、10分間の自然降下量を計測する。	図-2 アウトリガーシリンダー自然降下計測姿勢
		

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブーム旋回 作動速度	アウトリガーを最大に張り出し、各ブームシリンダーの全ストロークの作動時間をストップウォッチで計測する。	図-3 ブーム作動速度計測姿勢 (下図参照)
		